

## Ⅱ. 日本における「単一民族神話」の歴史的起源と変遷過程（その1）

### — 近代以前の「単一民族神話」 —

浅野慎一（神戸大学）

#### 【「日本・日本人」の起源】

「日本・日本人」意識の源流：7世紀後半～8世紀、律令国家。

ヤマト政権：国号「倭」→「日本」、王の称号「大王（王）」→「天皇」。

天皇：無姓。氏・姓を授ける存在（＝戸籍作成）。

租税（「租庸調」）の基礎：米。→稲作中心の産業構造。

律令国家の形成：隋・唐帝国の成立等、東アジア社会の動乱と密接に関連。

ヤマト政権：4世紀頃～、朝鮮半島に進出。

5世紀頃、朝鮮半島の権益をめぐり、中国皇帝（南北朝時代・南宋）に朝貢・「冊封」。

\* 中国（中華）：皇帝を中心とする世界秩序・普遍的文明（≠国家・漢民族）。

& 卓越した文化・知識・技術の普及。

中国（皇帝）の権威の下、ヤマト政権：朝鮮半島諸国との戦争・合従連衡を展開。ex）「磐井の乱」。

6世紀末、隋・唐による中国統一。強大な中華帝国の登場。

7世紀頃、ヤマト政権：中華帝国からの自立化（それを可能にする中央集権化）を模索。

ex）聖徳太子：「日出ずる国の天子、日没する国の天子に文を遣わす」

遣唐使・朝貢は送るが、冊封は受けず。

大化改新（645年）：中央集権化。

白村江の戦（663年）：壊滅的敗北。

ヤマト政権：朝鮮半島での影響力・権益を完全喪失。

唐帝国の来襲・脅威に備え（「水城」・防人・狼煙、大津宮遷都）

中央集権的政治・軍事体制構築の必要。

律令国家。「倭」→「日本」、「大王」→「天皇」。

中国（皇帝）中心の世界秩序からの離脱宣言。「小中華」。

#### 【「日本・日本人」の固有性の構築】

8世紀半ば、唐の衰退。

→周辺地域で多様な独自の文化・社会の形成。

ex）遣唐使廃止（894年）。古典的国制、かな文字等、日本文化。

平安京造営、蝦夷「征伐」。

9世紀、新羅・朝鮮半島との関係も希薄化。

←藤原元万侶の乱、海賊来襲、渡来人反乱等。

BUT 「島国・稲作・かな文字・日本人」意識：支配階級（大和朝廷）の政策・意図の反映。

現実の日本列島に住む人々の生活・意識：多様。

ex）中国大陸・朝鮮半島と日本列島の間を往来・交流・混血。「海＝道」。

平清盛：日宋貿易。武家政権樹立。宋銭輸入：宋を中心とする東アジア経済圏。

山民・海民・商人・職人・浮浪人等、多様な人々の活動・独自の文化。

「東夷」、「蝦夷・俘囚」、「隼人・熊襲」等。

BUT 律令制の影響：12世紀までには、本州・四国・九州の大部分に浸透。

ex）蝦夷・隼人：大和朝廷による武力制圧、同化強制。

13世紀、元寇。支配階級に「日本国」「神風・神国日本」意識の浸透。

#### 【「日本・日本人」の越境化・多様化】

室町時代～戦国時代：日本列島の中央集権体制は弛緩。

13世紀～16世紀、倭寇。日本人、朝鮮人、中国人、ポルトガル人。長崎、鹿児島、济州島、台湾、海南島等。

堺・博多の商人。東アジア・南アジアで大規模な交易。

足利義満：明皇帝から「日本国王」の冊封、日明貿易。

守護大名・大内氏：倭寇取り締まり、明皇帝の「日本国王」印綬、明・朝鮮・東南アジアと貿易。

16～18世紀、東南アジア各地に「日本人町」（山田長政）、日本各地に「唐人町（中華街）」。  
スペイン・ポルトガルの来航。鉄砲等→戦争の方式を一変。  
農業・稲作以外の多様な生産・交易活動の活発化。  
織田信長の経済的・軍事的基盤：グローバルな経済圏（商業）。  
16世紀末～、イギリス・オランダ：南蛮貿易。

### 【鎖国・稲作・「日本・日本人」】

江戸時代、鎖国、農本主義、イエ制度による身分固定。

→「島国・稲作中心・独特の文化をもつ日本人」意識の復興・定着。

戦国末期～江戸時代初期：「日本橋・日本晴・日本三景」。

支配階級のみならず、民衆（都市）にも「日本・日本人」意識の生成。

「日本・日本人」意識：歴史的に様々な変遷。

BUT 日本列島・中央集権的に統一・同化する支配階級の意図・政策の産物。（≠自然の地勢）。

日本列島を単位に「日本・日本人」意識の成熟。

∴ 幕末・黒船開国の際、尊王攘夷運動。

明治以後の急速な近代化・国民国家形成：「日本」を単位。

近代以前の「エトノス」：「神話」。

日本の神話：天皇中心。7世紀後半～、律令国家の形成。隋・唐帝国との政治的な緊張関係の中で構築。

日本列島の多くの異文化・異民族・多様性を抹殺、同化を強制。

### 【近代以前の「日本・日本人」の特徴】

①中国中心の世界秩序との緊張関係の中で構築されたイデオロギー。

近代以後の日本・日本人意識：欧米列強との緊張関係の中で構築。

中国を含むアジア諸国：支配の対象とするイデオロギー。

「小中華」→「大日本（帝国）・脱亜入欧」。

②階級・身分・地域的な意識が卓越した政治的意義。

国民・民族（nation）意識：危険思想。

幕末・黒船開国の衝撃→下層武士・上層農民のごく一部に政治的意味をもつ「日本・日本人」意識。

政治的意義をもつ「国家・国民（nation）」の成立：近代以後。

③北海道・沖縄：「日本・日本人」の外部。

アイヌ・オロッコ・ギリヤーク等、サハリン・クリル諸島・大陸ロシアを含む北東アジア世界と交流。

独自の社会・文化。コシヤマイン・シヤクシャインの戦。

「琉球国」：清の「冊封」、薩摩藩支配下。東南アジア世界と独自の外交。

松前藩・薩摩藩：アイヌ・琉球人に「日本・日本人」への同化強制より、異民族として苛酷な収奪・支配。

アイヌ・琉球人：自らを日本人と区別。「アイヌ／シャモ」「ウチナンチュ／ヤマトンチュ」。

BUT 近代以降、大日本帝国：北海道・沖縄、朝鮮半島・台湾も版図に。アジア大陸に進出。

アイヌ・琉球人に同化を強制。